

北アルプス広域連合
連合長 牛越 徹 殿

2008年2月18日
白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳

いつ、そして、なぜ飯森は「予定地」になったのか

－連合長の不誠実な行為に抗議する－

2月6日、北アルプス広域連合が発注した姫川河床における「確認調査」の現地視察を行なった私どもは、現地に立てられた「河川区域内行為の許可標」なる掲示を見てとても驚きました。

「目的」の項に、「ごみ処理施設建設予定地の姫川河川敷内における活断層及び副断層の確認調査のため、河床掘削作業及びボーリング調査を行う」と表示されていたからです。

この文言は、牛越連合長が長野県大町市建設事務所長宛の建設許可申請書（平成19年12月13日付）に書いているものです。許可申請のために「候補地」ではなく「予定地」としたことは明白です。それは、虚偽の記載であり虚偽の申請にあたります。

また、牛越連合長と太田村長は、「飯森は候補地の一つに過ぎない」と言い続けてきたのです。私どもは、「候補地」の一つであるはずの飯森を、建設を前提とする「予定地」として申請するのは違法であると考えます。そのような虚偽の申請は、飯森を候補地に過ぎないとする連合長と村長のことばを信じてきた私ども住民を、愚弄するものと言っても過言ではありません。

以上のような連合長の不誠実な行為に対し私どもは強く抗議し、直ちに虚偽の許可申請を取り下げを要求します。

以上